

# かんまき 議会だより

第87号

平成26年2月1日号



元気な新成人たち

## TOPICS

- 12月定例会 ..... 2・3
- 議決結果・議会日誌 ..... 4
- 一般質問 ..... 5～8
- 土地開発公社解散に伴う債権放棄 ..... 8
- 委員会視察研修 ..... 9
- 議会報告会 ..... 10

# 文教厚生委員長報告

# 総務建設委員長報告

## ■上牧町国民健康保険税条例の一部改正

平成26年度より、国民健康保険税の医療分、世帯別平等割額が2万8,800円から1万8,800円に引き下げられます。

**問** 国保引き下げによる会計への影響額、医療費の動向は。

**答** 保険税引き下げの影響額は約3,400万円、医療費の伸びは続いている。

## ■上牧町後期高齢者医療に関する条例及び上牧町介護保険条例の一部改正

地方税法の改正に伴う条例改正です。現在の低金利状況をふまえて、延滞金が年14・6%から9・3%（納期限後から一ヶ月までは7・3%から3%）に引き下げられます。

## ■上牧町乳幼児等医療費助成条例の一部改正

平成26年度より、子どもの医

療費助成は、現在の小学3年生修了までが6年生修了までに拡大され、中学生については入院費のみ無料となります。

**問** 助成対象人数と財政負担は。

**答** 小学生が1,243人、中学生が743人であり、町負担は約2,300万円。奈良県では、入院に限り中学卒業までの助成が検討されている。

以上3議案は、いずれも全委員異議なく可決しました。



## ■平成25年度一般会計補正予算(第3回)

歳入歳出を8,853万円減額、予算総額が113億3,423万円となりました。

**問** 土地開発公社債務保証経費が当初予算より1億円減額補正となっているが…

**答** 土地開発公社の借入金が42億円に減額となり、これに伴い債務保証経費が1億円減額となった。従って三セク債の借入額も最終的に42億円となった。

**問** 上牧町まちづくり基本条例制定までの今後のスケジュールはどうか。

**答** 検討委員会で条例案がまとまった段階で、シンポジウム開催とパブリックコメント実施のうえ、3月議会に条例案を上程する予定である。

**問** 子ども・子育て支援新制度対応システム構築934万円を計上したが、その内容は…

**答** 新制度の目的は、保護者のニーズに合わせて認定して行くことである。その結果によるサ

ービスを受け、利用料を支払って頂くことになる。それに伴い住民基本台帳や事業所管理、利用情報の量的管理、収納や滞納の管理等を盛り込んだシステムである。

**問** 第5住宅結露による内部補修工事の内容について説明を…

**答** 第5住宅3棟北側部分の1〜3階で結露が発生し、内部補修工事費として258万5千円を計上した。

**問** 公債費、長期債利子1,209万7千円の減額の理由は何か。

**答** 予算計上時は、2%で計算していたが、事業によつては0・4〜0・6%になっており、減額補正した。

## ■町指定金融機関の指定

**問** 指定金融機関を4月1日付で、りそな銀行から南都銀行に変更することになった。行程、コスト、事務処理態勢は…

**答** 26年3月に契約を締結し、4月1日付けで告示を行う。現在、りそな銀行の振込手数料は免除

となっているが、25年12月から必要となり、総額は600万円が見込まれる。事務処理は、パソコンによるデータ送信方式を採用しており、変更により住民に迷惑をかけることはない。但し、庁舎内のりそな銀行設置のATMが無くなる恐れがある。

■権利の放棄

この議案は、町が三セク債42億円を借入れ、土地開発公社に代わって金融機関に42億円返済しました。残った土地の評価額5億8,750万円を差し引いた額36億1,250万円の債権回収が不可能であり、止む無くその権利を放棄するものです。

問 権利放棄は、多額でもあり財政規模からみると負担割合は大きい。公社解散に伴う最後の議案であり、町としての説明が求められるがどうか。

答 このことについては、財政問題特別委員会が相当議論して頂き、債権放棄額の36億1,250万円についても中間報告されている。今後、代物弁済として町に引き取っている土地の処理についても、26年3月議会にこれに係る基金条例案

を上程する予定である。これらを含めて住民に説明して行きたい。

意見 財政問題特別委員会が設置された当時、借入金が約56億円とされていた。この間、民間への売却、町の買い戻し等によって借入金を42億円にまでに減額した。よってこれまでの売却状況、買い戻し状況をまとめた報告書を提出していただくよう求める。また今後の売却状況及び管理状況を議会に報告されることを強く求める。



アピタ外周道路

■上牧町道路線の認定

問 認定する道路の概要は…

答 アピタ外周に作られた開発道路で、起点は町道米山・新町線、終点は県道中筋出作・川合線である。道路延長は608.6m、幅員10.5m(車道部8.0m、歩道部2.5m)、面積6,390㎡である。

■上牧町営住宅条例の一部を改正する条例について

■市街地の区域及び居住表示の方法

■北葛城郡公平委員会規約の変更

■奈良県市町村総合事務組合を組織する市町村等の変更

■奈良県市町村総合事務組合規約の変更

■意見書案第1号「速やかに取調への全面可視化(取調べ全過程の録音録画)を求める意見書(案)」東議員提出

以上の10議案については、慎重審議の結果、全委員異議無く可決しました。

■意見書案第2号「消費税の軽減税率制度の導入を求める意

見書(案)「長岡議員提出

審議の結果、東委員より「消費税増税による景気悪化で低所得者への直撃は見過ごすことはできない。低所得者対策というなら消費税増税を中止するのが本来のスジというものである」との反対討論がありました。

堀内委員より「所得格差は拡大しており、所得の低い人ほど所得に占める消費税の負担割合は大きい。10%への増税時にはどうしても恒常的な低所得者対策が不可欠である」との賛成討論がありました。

木内議員より「軽減税率の導入は財源の目減りをもたらすし、税と社会保障の一体改革の根底を揺るがす。複数税率は高所得者ほど大きな負担軽減となり、低所得者対策にはならない」との反対討論がありました。

石丸委員より「意見書案は消費税増税を前提とした内容である。軽減措置は消費税導入に理解を得るために必要とあるが、増税を推進する立場の意見である」との反対討論がありました。

起立採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

# 平成25年12月 定例会の議決結果 (平成25年12月4日～12月12日)

議 案 名	議決結果	辻 誠一	長岡 照美	堀内 英樹	康村 昌史	石丸 典子	木内 利雄	東 充洋	吉中 隆昭	芳倉 利次	服部 公英	吉川 米義	富木つや子
◎上牧町営住宅条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に変わりません
◎上牧町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎上牧町後期高齢者医療に関する条例及び上牧町介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎上牧町乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎北葛城郡公平委員会規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎奈良県市町村総合事務組合を組織する市町村等の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎奈良県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎住居表示に関する法律第3条第1項の規定による市街地の区域及び住居表示の方法について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎上牧町道路線の認定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎平成25年度上牧町一般会計補正予算(第3回)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎上牧町指定金融機関の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎権利の放棄について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎速やかに取調べの全面可視化(取調べ全過程の録音録画)を求める意見書(案)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
◎消費税の軽減税率制度の導入を求める意見書(案)	原案可決	●	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	

○ 賛成      ● 反対      - 除斥      × 棄権      空白は欠席

※議長は採決に変わりません

## 議 会 日 誌

12月  
2日 議会改革検討委員会(第5回)

4日 広報委員会

11日 広報委員会

12日 町民体育祭

15日 町追悼式

16日 広報委員会

19日 第2回上牧町議会報告会

23日 総務建設・文教厚生委員会合同行政視察研修

28日 議会運営委員会行政視察研修

29日 静香苑環境施設組合議会

31日 王寺周辺広域市町村圏議長会視察研修

11月  
1日 王寺周辺広域市町村圏議長会視察研修

12日 第57回議長全国大会

15日 議会改革検討委員会(第6回)

25日 全員協議会

28日 災害(強)まちづくり特別委員会(第7回)

28日 国保運営協議会

28日 北葛城郡町議会議員研修会

26日 議会運営委員会

25日 第4回定例会(初日)

2016年  
16日 総務建設委員会

11日 文教厚生委員会

10日 一般質問(4名)

6日 一般質問(3名)

5日 第4回定例会(最終日)

4日 広報委員会

2日 議会改革検討委員会(第7回)

26日 シルバー人材センター理事会

25日 広報委員会

2016年  
16日 王寺周辺広域市町村圏協議会

16日 全員協議会



堀内 英樹

# 国民健康保険税引き下げ — 26年度から加入世帯で1万円安く —

**問** 26年度から国民健康保険税が引き下げられるが…

**答** 国民健康保険税の引き下げについては、医療費分の平等割の2万8,800円を1万8,800円に引き下げる条例案を議会に提出した。国保特別会計については、市町村国保の広域化が検討されているなかで、広域化への移行時期についての国の動向を見極めながら対応して行きたい。

**問** まだまだ厳しい財政のなかで、乳幼児医療費助成対象を小学校6年まで、入院費に限って中学校3年まで引き上げる条例が可決された。町民にとってうれし

い贈り物になったことは高く評価したい。医療費はインフルエンザの流行もあり、医療も日進月歩であり変動が大きい。安定的な事業運営だけには心がけて頂きたいが、どうか。

**答** 今指摘のように、いつ何時病気が流行したりすることがあるか分からないので、財政調整基金とか財源を見据えながら、29年度の広域化まで十分気を付けて国保の運営をして行きたい。



東 充洋

# バリアフリーで 安全安心の町づくりを

**問** 地方整備局近畿技術事務所がバリアフリーの大切さを体験した。傾斜があれは車イスは低い方に動き、2〜3cmの高さがあれば昇れない事を体験した。身体に障害のある方々が安心して往来できる町づくりを願う。

**答** 町道米山・新町線、桜ヶ丘・新町線の新しい道路が建設されたが、バリアフリー化がされていないのではないか。

**問** 新路線に点字誘導パネルをまだ設置していない。電柱移動において少し計画通りになっていない。

**答** 今回の路線は大型店舗が出店され町

のメインとなる箇所であり、計画段階からバリアフリー化を要望してきた。

**答** 計画段階からバリアフリー化を前提としており、あと少し時間をいただきたい。

**問** 米山・新町線に友誼会のリハビリ病院がある。患者さんがリハビリのため車イスで散歩される車道と歩道の境目に設置された側溝のグレイチングに前輪が入り身動きが取れなくなる。改善の要望がある。

**答** 米山・新町線のグレイチングは最新の物を使用しており一度調査する。



辻 誠一

## 急がれる老朽化公共施設の補修

**問** 高度経済成長期から約50年経過した

昨今、上牧町でも橋梁、道路、また一部学校施設の老朽化が顕著となってきた。一方国、県からの指導で橋梁の長寿命化修繕計画が今年

度執行されている。長寿命化も大切であるが、橋梁上部工の

防護柵の劣化がひどく、放置すれば危険な部材の補修が急がれる。西名阪道を跨ぐ岡在橋、つくも橋である。維持管理の責任は、どこか。

**答** 橋梁の長寿命化修繕計画は岡在橋、つくも橋も含め町道の11橋が対象、維持管理責任は町である。

**問** 点検方法は…  
定期的な点検を、

また地域からの情報で確認している。

**問** 万が一、西名阪道に金物の破片が落下し、通行車両に当たれば大変なことになるが。

**答** 点検結果を基に早期に補修を行う。

**問** 学校施設も老朽が著しい。二小のプール設備で、特に電柱や柵など金物の劣化が著しい。また、二中体育館の屋根の錆が顕著であり、放置すれば雨漏りとなり補修費用もかさむ。  
**答** 優先順位を付け、計画的に行いたい。抜本的なものは国庫補助金を活用して行っていきたい。



服部 公英

## 土地開発公社解散と三セク債借り入れ

**問** 土地開発公社と第三セクター等改革推進債（以下三セク債）が最終段階になりました。住民の皆さんに理解してもらえようになぜ三セク債を借り入れるのか理由を説明してください。

**答** 土地開発公社解散にかかる三セク債を活用することにより、現行借り入れ金利より低金利で固定化することができ、後年度の財政負担を平準化するためにも、地方債の特例として三セク債の活用できる最終年度の平成25年度にて借り入れを実行いたしました。

**問** 三セク債を借りた後の上牧町の借り入れ総額（起債残高）

を聞かせてください。

**答** 平成25年度において、三セク債以外では、今年度末に臨時財政対策債、上牧第2小学校耐震補強事業、庁舎耐震設計委託分を予定しており、借り入れを行った年度末の起債残高は、142億9,459万円です。

**問** 42億円の借り替えた内容は…

**答** 三セク債を活用して南都銀行から42億円を借りて、これまで借りていたりそな銀行22億円・南都銀行16億7,000万円・葛城地区清掃事務組合3億3,000万円を返したといった内容になっています。

# 上牧 2 中のオープン・デイズに参加して



康村 昌史

**問** 平成25年10月19日(土)、上牧2中で行われたオープン・デイズに、約1時間参加した。オープン・デイズとはなにか。

**答** オープン・デイズは、土曜日に行い、普段の仕事で保護者参観に来られない人や、地域住民の方にも授業を見てもらい、家庭・学校・地域社会が一体となつて、生徒たちを立派に育てようという目的で行われている。

**問** 最初、一通り教室を見て回った。二回目から、時間の許す限りゆっくり各教室を見たが、そこで驚くべき光景を見た。2か所の教室で生徒が寝ていた。しかし、先生はそれを無視して授業を進めている。私が学生の頃には考えられないことである。これが今の授業風景なのか。

**答** 調査する。

**問** 授業終了のチャイムが鳴った。しかし、生徒達がいつ先生に終わりの挨拶をしたのか分からないままに、生徒たちは休憩に入った。授業というものは、礼に始まり、礼に終わるべきであるが、満足に挨拶の仕方も教えていないのか。教育以前の問題である。

**答** そこで、2中・2小の保護者の方に聞き取り調査を行った。その結果、今学校が非常に荒れている状態が判明し、町当局に調査を行うよう強く要請する。

**答** 学校に確認して、そのような事があれば指導する。



長岡 照美

# 子ども読書活動推進計画をブックスタート・雑誌スポンサー事業の導入で

**問** 子どもが本を読み、本を楽しみ、本で遊ぶ環境を整えていく読書活動推進計画は必要です。子どもの読書離れや活字離れを防ぐ取り組みは…

**答** 子ども読書活動推進計画を策定します。

**問** ブックスタート事業は絵本を配付するだけでなくゼロ歳児健診などの機会に、赤ちゃんとその保護者に絵本や子育てに関する情報や資料を手渡しします。「赤ちゃん絵本を楽しむ体験」をプレゼントする事業の設置は…

**答** 現在、母子手帳と同時に絵本を贈呈しています。健診時に読み聞かせの事業

**問** 雑誌スポンサー制度は企業、団体などに指定する雑誌の購入費を負担してもらい、代わりに雑誌のカバー表面にそのスポンサー名、裏面に広告を載せたりするものです。上牧町でも経費削減と雑誌コーナーの充実のため雑誌スポンサー制度の導入は…

**答** 雑誌のスポンサー制度の導入をしていきたい。広報紙等で募集を募ります。



をしていきたい。



木内 利雄

## 子育て支援と精神障がい者施策 医療費無料化の拡充を

**問** 子育て支援施策の拡充について伺う。現行制度では小学3年生まで医療費の無料化を行っているが、平成26年度からは小学6年生まで、また、中学生は入院時のみの無料化という制度の拡充を図る条例改正案が町長から提出された（12月議会で可決）。私木内は中学生についても通院も無料の対象とするべきだと強く主張する。

**答** 財政状況を考慮すれば、来年度から実施というのは困難と考える。中学生における通院の無料化は2年後と考えている。ただ、来年度の財政状況や近隣市町村の状況などを考え合わせながら検討する。

**問** 12月の奈良県議会で「精神障がい者にも福祉医療制度の適用を求める」との議員質問に荒井知事は「来年度に制度が適用できるように努力する。全市町村で実施していただくように働きかけたい」と答弁。

**答** 県が制度化を行えば、上牧町も実施をしていくという方向で取り組む。

### 土地開発公社解散に伴う債権放棄

上牧町第4回定例会において、上牧町土地開発公社（以下公社）の一連の解散手続きとして、公社の債権放棄を議決しました。

上牧町は公社に対し、出資・債務保証をしていることから公社の解散に伴い、その責任が逃れられません。公社は債務超過の状態では解散できないのです。

25年11月29日に上牧町は南都銀行より三セク債42億円を借り入れ、その資金を公社の借金返済に充当させました。これまでの借入先である、りそな銀行に22億円、南都銀行に16億7千万円、葛城地区清掃事務組合に3億3千万円を、代位弁済（借入金返済）しました。

これは南都銀行の三セク債借入利率が、他の金融機関より低かったこと、すなわち、予定では最大3%を見込んでいましたが、0.87%と最も低かったことにより、債権放棄とは債務者から弁済を

受ける権利を放棄することで、平易に言えば「借金の肩代わり」のことです。

放棄する内容は、公社に代って町が金融機関等に代位弁済する42億円から、公社より代物弁済として町が取得する土地の評価額5億8千7百50万円を差し引いた残りの36億1千2百50万円の債権額です。

今後、三セク債を元金均等半年払いで、26年度より最大で年間約2億円ずつ25年間で返却していきます。

事務的には、解散認可が下れば公社は清算人登記、官報に解散公告・催告、清算終了の登記・届出という一連の流れになります。そして清算終了後、直近の議会に報告があり、完結します。

議会は毎年返済状況の確認と公社より代物弁済で受けた土地の処分・利用が適切に行われるか監視していきます。



## 総務建設・文教厚生委員会 合同視察研修について

総務建設・文教厚生委員会合同で、行政視察研修を実施した。

1、視察日 平成25年10月23日

(水)～24日(木)

2、視察場所

1日目 三重県伊賀市・三重中央開発㈱

2日目 三重県鳥羽市議会

3、視察内容

①現在上牧町の抱える問題の中で、「ゴミ焼却場の建設・移転等は、最重要課題のひとつである。長い間、香芝市の住民に迷惑をかけている。しかし、他の市町村との焼却場建設は、住民合意を得るのが難しい等、他の方策も



考えなければならぬ。近隣では、斑鳩町がこの三重中央開発㈱にゴミ焼却を完全委託している。上牧町のゴミ焼却量に十分対応できる立派な会社の一つであることが判明した。

②議会改革の一つに、議会のインターネット中継・タブレット端末等の利用が検討されている。

その「ICT (Information and Communication Technology) 情報通信技術で「議会の見える化」を進めている鳥羽市議会を視察した。

この鳥羽市議会は、全国初の議会ツイッターの導入、原則すべての会議のインターネット(ユーストリーム経由)中継をすでに行っている。しかし、この鳥羽市議会でもインターネット中継は、平成22年9月議会から始まった。その間試行錯誤を繰り返し現在に至っていることがわかった。

上牧町議会でも、同様の費用負担の問題をクリアしなければならぬ。しかし、先進地を参考に「できることからやってみよう」ことが重要と思われる。

## インターネット中継と タブレット端末導入について

秩父市議会と飯能市議会を視察

議会運営委員会が10月28日、29日に埼玉県・秩父市議会と飯能市議会への視察を行った。

秩父市議会は、議会改革そして活性化を図るために2007年12月定例会から地元ケーブルテレビで一般質問を除く本会議の生中継および録画中継を放映。しかしケーブルテレビでは視聴範囲が限定されるためインターネットによる放映を検討。結果、既存ケーブルテレビの画像を利用し、インターネット中継で11年6月定例会から一般質問を含む本会議のすべての放映を行っている。

一方、飯能市議会はペーパーレス化、情報伝達、各種資料の閲覧等の推進を図るためタブレット端末を12年4月、全議員21人に配布。市議会ではこれまで年4回の定例会や全員協議会で使う冊子や資料に、約10万枚のコピー用紙を使用してきたが、タブレット端末導入により議会資料や議事録冊子の廃止で年間、

印刷製本費が210万円、紙使用量10万枚の削減等々の実績を上げている。また、初期設備費用等は2年6ヶ月で回収見込みとしている。

上牧町議会でもインターネット中継とタブレット端末の導入を検討しているところであり、早期の実現を目指したい。



# 議会報告会を開催しました

10月19日（土）午後1時半より、2000年会館（多目的室）で、平成25年4月に制定した「上牧町議会基本条例」に基づいて第2回の議会報告会を開催しました。延べ23名の方に参加いただきました。

今回3つのテーマについて報告が行われました。

- ・議会基本条例の施行と議会改革の取り組みについて
- ・土地開発公社の解散と三セク債の借入れについて
- ・平成24年度決算審査と今後の課題



報告の後1時間の予定で質疑応答をお受けしました。ご参加いただいた皆さんから活発な発言をいただきました。特に「参加者がまだまだ少なく、もっと増えるように常に考え住民の為に長く続けて頂きたい」とのご意見や「提言を切実に受け止め、多くの住民の皆さんに議会報告会にご参加いただける工夫の必要性を感じました。」

## 質疑応答の要旨

**質問者** 議会基本条例の議会改革として全体の取り組み状況

と評価について、意見を聞きたい。

**議会** 議会改革は始まったばかりであり、評価についてはある段階で検証し、皆さまにご報告をさせていただきます。

**質問者** 財政収支の見通しで税収が年々減っているが、税収が増える見通しはないのか。

**議会** 税収は緩やかに低下しているが、新しい住宅などを考慮し固定資産税の増収見込みを7千万円に設定されている。

会場でのアンケート結果については、年2回の開催希望が多くありました。時間帯・内容（テーマ）・進め方については検討し、今後、議会報告会でいただいた意見等を議会審議に反映させ、出来るだけわかりやすく開かれた議会運営に努めてまいります。

## 編集後記

平成25年を表す漢字が「輪」と決まり、オリンピック招致成功と助け合いの輪を広げようと言うことです。上牧町の漢字は「借」ではないでしょうか。まだ、険しい道のりが続きます。それでも返済できる計画が立ったことを喜ぶべきとし、明るい未来を信じて、頑張ります。

広報委員会  
TEL 0745-76-1001  
FAX 0745-76-1003

委員長 長岡 照美  
副委員長 康村 昌史  
委員 辻 誠一  
委員 堀内 英樹  
委員 石丸 典子  
委員 服部 公英

## 次回の定例会は

3月4日開催予定

・第1回上牧町議会定例会  
平成26年3月4日（火）  
午前10時から

・議会運営委員会  
平成26年2月28日（金）  
午前10時から